

平成23年3月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館（青梅市駒木町1-684 TEL0428-23-6859）

梅岩寺の西国三十三ヶ所霊場の写し

青梅駅から5分ほど西に行くと、4月のはじめには見事に咲き誇る枝垂れ桜でも有名な梅岩寺があります。その山門を潜ったすぐ左側の生垣の中に、西国三十三ヶ寺の一番である石碑があります。その石碑正面には「西国第一番 紀伊国牟婁郡那智山寫 本尊 六臂如意輪觀世音菩薩 ふだらくや 岸打つ波は 三熊野の 那智のお山に ひびく滝津瀬 仁和寺門跡大僧正法龍書[㊤]」、裏面には「明治41年12月21日 金剛寺前住職 発願主 清水憲譽 梅岩寺兼住職助力杉本亮譽 石工藤堂音次郎刻」。そして東側面には「わが憲譽老師西国觀音霊場の道遠くして諸人是が往詣の容易ならざるを憂い今春自ら巡拝之素願を遂げ霊砂を携へ歸りて普く有志に謀り遂に當山境内より秋葉山頂に亘りて霊碑三十三箇を建て是を霊場に擬して廣く有縁の善男女に便りとなす依りて願くば微小の善根を以て更に日清日露両役戦病死者並に斃死牛馬諸霊菩提の資量に充つと伝爾 西国巡拝随行 弟子融憲謹て誌す」とあるように、金剛寺第五十六世法印憲譽住職の発願により、遠くて巡拝出来ない人達の為、また明治27年・38年の日清・日露戦争で戦死した人や病死した人、またその時一緒に死んだ牛馬を弔うために自ら砂を持ち帰り、有志に働きかけ、明治41年に造ったとあります。

山門を入らず左の坂の方へ行くと「西国三十三箇所霊場入口」があります。境内を通り、秋葉山の登り口にある桜の樹の下に2番があり、それから秋葉神社の鳥居までの九十九折れの道の角に3番から14番までの石碑があります。残念な事に7番は見当たりませんでした。秋葉神社の裏から永山遊歩道に出るまでに15番から22番までありますが、18番は木によりかかっている状態です。また、永山遊歩道に面しているところには27番・23番・26番（破損しています）の石碑があります。24番・25番・28番も見当たりませんでした。そこから琴平神社方面に永山遊歩道を歩いて行くと、29番の馬頭觀世音菩薩があります。説明文にあったように、日清・日露戦争で斃死した馬を供養するためのものであるのでしょうか、大勢の馬持ち講中の人達によって建てられています。その碑から梅岩寺に下る道に30番から33番がありますが、今では道らしい道が通っていません。

んでした。明治41年から43年に建てられたものですが、施主には青梅の著名人や13番の石碑に見られるように、裏枳（宿）町2名・森下町6名・仲町3名・本町6名・住江町10名・西分1名の女性の名前が刻まれています。以前は梅岩寺の山門から順に参拝すると秋葉山に行き、また、梅岩寺に降りてくるように道も整備されていたものと思われます。そして、7・24・25・28番の碑を見つけた方は是非ご連絡下さい。

（文責 儘田 小夜子）